

「食品ロス問題」や「貧困問題」の解決策として、世界中で期待されている“フードバンク”

そんなフードバンクへの食材提供を、ナンチクでも今年度から始めました！



工場で出る端材（お肉の切れ端）は、お肉が細かくて不揃いすぎる為にお客様には提供できずに廃棄してしまうこともあったんだ。  
ナンチクのお肉は端材であっても美味しいお肉ということは変わらない！  
そこで、“フードバンクそお”に食材の提供をすることにしたんだ♪



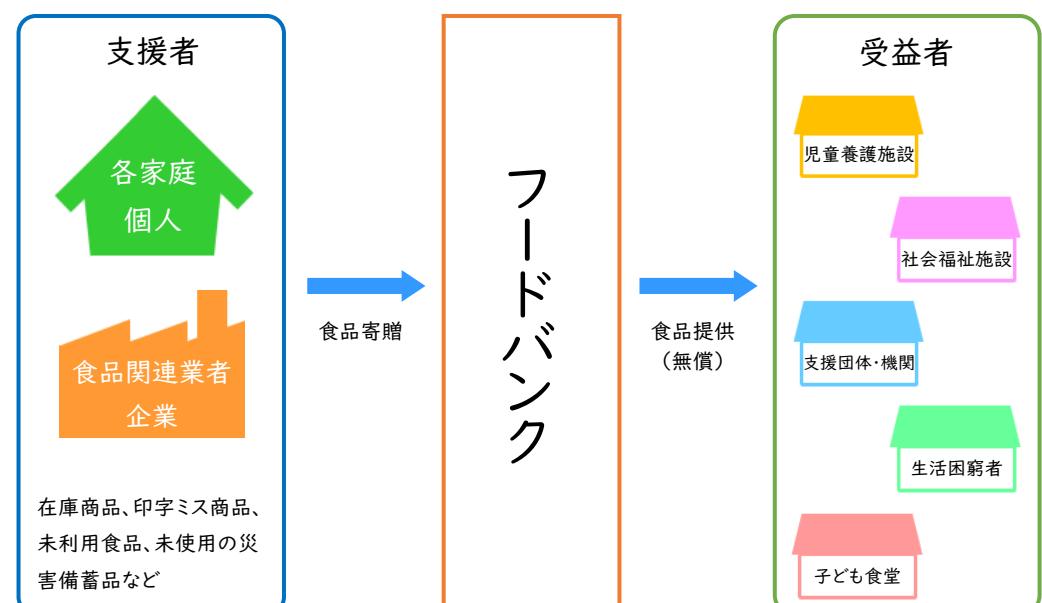
ナンチクが提供したお肉は“フードバンクそお”を通して、

生活困窮者への食糧支援や、曾於市大隅で月1回開かれている「ふれあい食堂（子ども食堂）」への食材提供として使用されています。

## フードバンクって、どんな活動なの？



フードバンクとは「品質には問題がなくまだ食べられるにもかかわらず、様々な理由で廃棄されてしまう食品を、必要としている施設や団体、生活困窮者などに配給する活動やその活動を行う団体のこと」で、支援の多くは無償で行なわれているんだ！



## フードバンクが解決策として期待されている「食品ロス問題」・「貧困問題」とは？

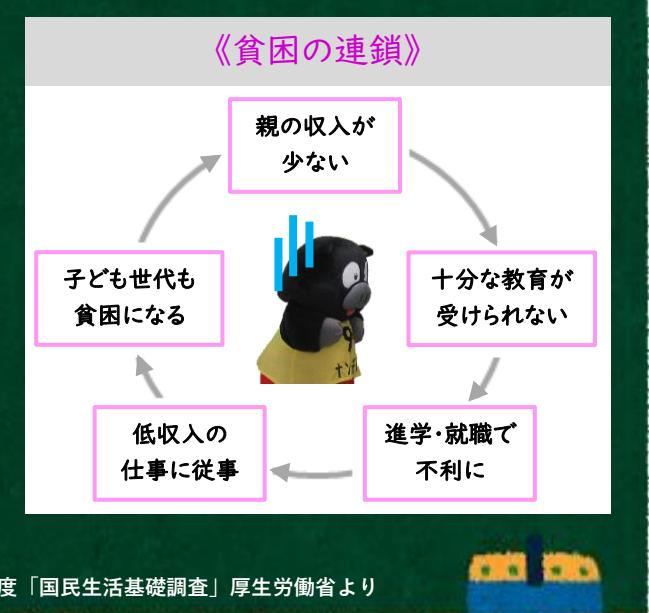
### 食品ロス問題

日本では年間約646万トンもの食べ物が、まだ食べられるにもかかわらず廃棄されている。（食品関連事業者から約357万トン、一般家庭から289万トン）これは、世界全体の食料援助量（2014年、320万トン）の約2倍に匹敵する。

### 貧困問題

貧困世帯で暮らす17歳以下の子どもの数は、<sup>\*</sup>7人に1人となっている。

貧困の連鎖を断ち切る為には、「他者からの支援」が必要となる。



\* 平成28年度「国民生活基礎調査」厚生労働省より

ナンチクではフードバンクの活動を通して、「食品ロスの問題」や「貧困問題」の解決に少しでも貢献できるよう取り組んでいきます。